

# 1 ねらいの設定に向けて、次の3つを明らかにします。

## 道徳的価値

ねらいとする道徳的価値・指導内容についての考え方を明らかにします。

- ① 価値理解 ② 人間理解 ③ 他者理解  
(意義やその大切さ、実現できたり実現できなかったりする際の感じ方、考え方等)

学習指導要領の解説書をもとに、内容項目の発展性や特質、指導の要点を確認します。(私たちの道徳、心のノートも参考になります。)

## 生徒の実態

ねらいとする道徳的価値にかかわる生徒のよさや課題等の把握を踏まえ、生徒に考えさせるべきことを明らかにします。

これまでの各教科等や道徳科での指導の機会や程度を確認します。  
(道徳教育全体計画の別葉が活かされます。)

## 教材

生徒に考えさせたい道徳的価値に関わる内容が、教材のどの部分で考えさせられるのか、どのように活用していくのかを明らかにします。

道徳的価値、生徒の実態で明らかにしたことを踏まえると、分析しやすくなります。

ね ら い

# 2 道徳科の特質を踏まえ、指導の意図を明らかにします。

## 道徳科の学習

道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習

### 視点1

生徒がより多面的・多角的な見方へと発展する

- 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やその時の心情を様々な視点から捉え考える。
- 自分と違う立場や感じ方、考え方を理解する。
- 複数の道徳的価値の対立が生じる場面において取り得る行動を多面的・多角的に考える。

### 視点2

道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深める

- 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解する。
- 現在の自分自身を振り返り、自らの生活や考えを見直す。  
【道徳的な問題に対して自己の取り得る行動を他者と議論する際】
- 道徳的価値の理解をさらに深める。
- 道徳的価値を実現することの難しさを自分事として捉え、考える。

上の視点は、学習指導要領解説に示されている評価における視点例を基に作成しています。

なぜ、登場人物の気持ちを考える？グループで話し合う目的は？上を参考に、発問や活動等、教師の意図を明確にした授業をつくっていきましょう。

### 3 基本的な学習の流れを踏まえ、授業をつくります。

導入

主題に対する問題意識を高め、自分なりの解決したい課題を明確にもつ。

展開

教材等を通して、深めたり、広げたりした道徳的価値観に照らして、自己を見つめていく。

終末

道徳的価値についての関心を継続したり、道徳的実践への意欲をもったりする。

	主な学習活動と発問例	教師のかかわり 具体的な方法例
導入	<p><b>1 本時の主題にかかわる課題意識を持つ。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ☆☆について、いつもどんなことを考えていますか。</li> <li>○ ☆☆ができなかったこともあるようですが、どんな気持ちからできなかったのですか。</li> <li>○ ☆☆については、大切にしたいという気持ちとできなかったときの気持ちに違いがあるようですね。では、今日はどんなことを考えていきたいですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 切実な課題意識をもたせるために、道徳的価値に対する現在の捉えや、実践できたり、なかなか実践できなかったりする時の気持ちを想起させ、矛盾する感情に気づかせていく。</li> </ul> <p>・アンケート結果の提示 ・絵や写真、実物の提示 等</p>
展開	<p><b>2 教材を読んで、話し合う。</b></p> <p>(1) 焦点化したい場面や考えていきたいことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材を読んで、感じたことを発表してみましょう。</li> <li>○ 今日の課題について、◇◇の場面で考えていけそうですね。</li> </ul> <p>(2) 焦点化された場面や考えていくことについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主人公が～できなかったのはどんな気持ちからだろう。(実践できないときの心情)</li> <li>○ 主人公が～できたとき、どんな気持ちになっただろう。(意義や大切さ)</li> <li>○ 主人公が～～できたのは、どんな気持ちや考えを大切にしたらだろう。(実践に向かう気持ちや考え)</li> </ul> <p><b>3 学習したことを通して、これまでの自分について振り返る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでに話し合ったことを通して、これまでの生活を振り返ってみましょう。</li> <li>○ これまで話し合ったことを通して、～していくために、大切にしていきたい気持ちや考えについてまとめみましょう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材を感動的に読み取らせ、教材内容の把握をしやすくさせるために、教材提示を工夫する。</li> </ul> <p>・粗筋や場面設定の事前説明 ・挿絵の提示 ・ICT 機器の活用 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読み物教材の登場人物を自分に置き換えて考え、自分なりに具体的にイメージして理解させる。</li> <li>○ 道徳的価値に関わる問題に対する判断の根拠やその時の心情を様々な視点から捉え考えさせる。</li> <li>○ 自分と違う立場や感じ方、考え方を理解させる。</li> </ul> <p>・ワークシートへの書き込み ・話し合い活動(グループ、ネームプレート等の活用) ・役割演技、動作化 等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現在の自分自身を振り返り、自らの生活や考えを見直させる。</li> <li>○ 道徳的価値の理解をさらに深めさせる。</li> </ul> <p>・道徳ノートやワークシートへの書き込み</p>
終末	<p><b>4 学習したことの感想、これから生かしていきたいことについて話し合う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今日の学習を通して、納得した、やはり大切な、実現したいけどそう簡単ではないなどと、強く感じたことはどんなことですか。</li> <li>○ 今日の授業で感じたことを、これからどのような場面でどのように生かせようですか。</li> <li>○ これからもっと考えていきたいことは何ですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒自らの課題が連続・発展し、実践化が図られるようにするために、学んできた過程を振り返らせたり、これからの生活を具体的にイメージさせたりする。</li> </ul> <p>・教師の説話 ・ことわざ、格言の紹介 ・ゲストティーチャーの活用 ・教育活動時の写真 等</p>